

重点目標一覧表（中間報告調書）

【令和3年度重点目標】

担当部局名

健康こども未来部

重点目標	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための迅速・適切な対応		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>① 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく適切な対応</p> <p>(1) 国、県（保健所）、医療機関等からの情報収集と連携</p> <p>(2) 上田市対策本部の運営と全庁体制での各種施策の実施</p> <p>② 医療体制の確保と医療従事者への支援</p> <p>(1) 医療機関への支援（発熱患者等診療体制確保協力金）</p> <p>(2) 医療従事者への支援（医療従事者等宿泊費補助金、感染症指定医療機関等医療従事者慰労金）</p> <p>(3) 感染者や医療従事者に対する差別、偏見の防止</p> <p>③ ワクチンが供給された際の迅速、的確な接種</p> <p>(1) 個別接種と集団接種の併用実施</p> <p>(2) アナフィラキシー等の副反応に備えた安全な接種</p> <p>④ 感染予防のための正しい知識の周知</p> <p>(1) 研修会の開催（上田薬剤師会へ委託）</p> <p>(2) 出前講座の開催</p> <p>(3) 広報への掲載</p> <p>⑤ PCR検査のための上田地域検査センターの運営</p> <p>上田市医師会及び上田保健福祉事務所と連携した運営</p> <p>⑥ 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の支給</p> <p>(1) ひとり親世帯</p> <p>(2) (1)以外の住民税非課税の子育て世帯</p>	<p>①</p> <p>(1) 関係会議への出席による情報収集と連携</p> <p>(2) ワクチン接種等全庁体制による施策の実施</p> <p>②</p> <p>(1) 事業の周知と該当医療機関への給付</p> <p>(2) 事業の周知と該当者全員への給付</p> <p>(3) 広報うえだ等による啓発活動</p> <p>③</p> <p>7月末までに65歳以上の接種希望者全員にワクチン接種を実施（65歳未満への接種は未定）</p> <p>④</p> <p>(1) 研修会開催数：20回</p> <p>(2) 申込者全ての開催</p> <p>(3) 毎月、最新情報を掲載</p> <p>⑤</p> <p>必要な検査の実施</p> <p>⑥</p> <p>(1) 該当者全員に支給</p> <p>(2) 申請者全員に支給</p>	<p>①</p> <p>(1) 上小医療圏新型コロナウイルス感染症対策コア会議への出席：11回</p> <p>(2) 全庁体制による集団接種会場でのワクチン接種実施：15会場</p> <p>②</p> <p>(1) 支援内容について再検討中</p> <p>(2) 宿泊費補助金 該当者へ給付（3人） 医療従事者慰労金 該当者への上半期分給付のため、該当病院へ申請書類の送付</p> <p>(3) 上田市ホームページへの記事掲載による、差別、偏見の防止</p> <p>③</p> <p>1回目接種率 65歳以上 92.7% 65歳未満 64.0% （9月30日現在のワクチン接種記録システムから）</p> <p>④</p> <p>(1) 研修会開催数 12回</p> <p>(2) 申込みなし</p> <p>(3) 毎月の広報うえだに関連記事を掲載</p> <p>⑤</p> <p>上田地域検査センター開所日数 131日 被検査者数 1,643人</p> <p>⑥</p> <p>(1) 1,761人（1,184世帯）に支給</p> <p>(2) 1,277人（668世帯）に支給</p>
重点目標	子どもを産み、育てる喜びが実感できるまちづくりの推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<p>① 第2次上田市子ども・子育て支援事業計画の進行管理</p> <p>(1) 子ども・子育て会議の開催</p> <p>(2) 計画の進行管理</p> <p>② 地域における子育て支援の充実</p> <p>(1) 子育てサポーターの活動支援と養成講座の開催</p> <p>(2) 地域で活躍している子育て支援団体との連携</p> <p>③ 子育て世帯包括支援センターの機能充実</p> <p>(1) 母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターの連携強化</p> <p>(2) 地域の関係機関との連携、協働の体制づくり</p> <p>(3) 見守りし合わせ支援員の人材育成と情報発信・提供</p> <p>④ 子育て支援情報発信の充実</p> <p>(1) 子育て応援サイト・アプリ「うえだ家族」の運営</p> <p>(2) 子育て情報内容充実</p> <p>(3) AIチャットボット導入の検討</p> <p>⑤ 妊娠出産包括支援事業の充実</p> <p>(1) 妊娠届受理からの医療機関等との連携および妊産婦支援</p> <p>(2) 産後ケア事業等による産婦支援の充実</p>	<p>①</p> <p>(1) 全体会 3回</p> <p>(2) 子ども・子育て会議で検証・評価</p> <p>②</p> <p>(1) 子育てサポーター活動回数 500回</p> <p>(2) 参加者 500人</p> <p>③</p> <p>(1) 連携会議 月1回</p> <p>(2) 各所巡回 月1回</p> <p>(3) 研修会 年1回</p> <p>④</p> <p>(1) 情報の更新：月80件以上</p> <p>(2) 子育て応援ハンドブック発行、メール配信月1回</p> <p>(3) システム導入の研究</p> <p>⑤</p> <p>(1) 連絡箋の発信・返信 200件程度</p> <p>(2) 産後ケア利用者40人</p>	<p>①</p> <p>(1) R3.8月に書面会議を開催（R3.11.8、R4.2.2に開催予定）</p> <p>(2) 子ども・子育て会議（R3.8月書面会議）において報告・協議</p> <p>②</p> <p>(1) 子育てサポーター活動回数 247回</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大を考慮し、わくわくファミリーフェスタは中止</p> <p>③</p> <p>(1) 連携会議 月1回</p> <p>(2) 各所巡回 月1回</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症感染拡大を考慮し、中止</p> <p>④</p> <p>(1) 情報の更新：月平均66件</p> <p>(2) 子育て応援ハンドブック、新たにパパ応援ハンドブック発行し、うぶ声学級・検診時等において配付 メール配信月1回</p> <p>(3) AIチャットボットに代わる新たなオンライン相談体制を研究</p> <p>⑤</p> <p>(1) 医療機関等からサマリー（連絡箋）を受けた数：71件、連絡の返信：31件 医療機関等への連絡箋の発信：15件、電話等での連絡のやり取り：176件</p> <p>(2) 利用者数：10人（9月末現在）</p>

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

健康こども未来部

【令和3年度重点目標】

重点目標	「一人ひとりが健康で幸福なまち健幸都市の実現」に向けた各種健康施策の展開		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>①「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進</p> <p>(1)子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施</p> <p>(2)若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳（はたち）歯科検診の実施</p> <p>(3)健康づくりチャレンジポイント制度の実施</p> <p>(4)健幸ウォーキング事業の実施</p> <p>(5)健康プラザうえだ・健幸まつりイベントの実施【充実】</p> <p>(6)あたま・からだ元気体操の実施</p> <p>(7)健康づくり応援アプリ「うえいく」の安定した運営</p> <p>(8)まちかど健康相談室、食育啓発イベントの実施</p> <p>(9)「うえいく+（プラス）」事業の実施（実施回数増）【充実】</p> <p>②糖尿病等生活習慣病予防の推進</p> <p>(1)講演会の開催</p> <p>(2)プログラムに基づいた保健指導の実施</p> <p>(3)対象者に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等）</p> <p>(4)「第2次上田市食育推進計画」の推進と進捗管理</p> <p>③検（健）診の受診率向上強化</p> <p>④こころの健康づくりの推進</p> <p>(1)「自殺対策連携会議」による進行管理</p> <p>(2)ゲートキーパー研修の実施</p> <p>(3)こころの健康づくり講座実施</p>	<p>①</p> <p>(1)運動指導児数：延べ2,400人</p> <p>(2)-ア（社保）受診者数：400人 ※参考（国保）受診者数：300人</p> <p>(2)-イ 受診者数：500人</p> <p>(2)-ウ 受診者数：220人</p> <p>(3)参加者数：8,700人 （新規参加者数：700人）</p> <p>(4)年間参加者数：1,000人</p> <p>(5)11月3日開催予定 参加者300人</p> <p>(6)参加者数：延べ5,000人</p> <p>(7)ダウンロード者数：新規700人</p> <p>(8)相談室：40回 食育イベント：2回</p> <p>(9)参加者：延べ150人</p> <p>②</p> <p>(1)参加者数：150人</p> <p>(2)保健指導実施者数：400人</p> <p>(3)受診勧奨者数：500人</p> <p>(4)庁内連携会議：1回</p> <p>③医療機関に受診勧奨協力依頼</p> <p>④</p> <p>(1)自殺対策連携会議1回開催</p> <p>(2)修了者：20人、継続者：20人</p> <p>(3)昼と夜各1回</p>	<p>①</p> <p>(1) 運動指導児数：延べ1,023人（9月末現在）</p> <p>(2)-ア （社保）受診者数：92人（8月末現在） ※参考（国保）受診者数：40人（8月末現在）</p> <p>(2)-イ 受診者数：234人（8月末現在）</p> <p>(2)-ウ 受診者数：56人（8月末現在）</p> <p>(3) 参加者数：8,396人（9月末現在） （新規参加者数：347人）</p> <p>(4) 参加者数：411人</p> <p>(5) 2月に開催予定</p> <p>(6) 参加者数：延べ1,256人（9月末現在）</p> <p>(7) ダウンロード者数：247人（8月末現在）</p> <p>(8) 相談室：33回、食育イベント：1回</p> <p>(9) 参加者：延べ46人（9月末現在）</p> <p>②</p> <p>(1) 2月に開催予定</p> <p>(2) 10月から開始</p> <p>(3) 10月から開始</p> <p>(4) 庁内連携会議：1回</p> <p>③ 61医療機関実施</p> <p>④</p> <p>(1) 6月8日に開催、関係機関などから27名出席</p> <p>(2) コロナの感染状況により前半の2回（9/7、9/14）は対面ではなくオンデマンド形式により開催、20名ずつ出席</p> <p>(3) 疾患・障がいの有無にかかわらず、こころの安定を図り自分との付き合い方を考える講座として「WRAP（ラップ）元気回復行動プラン」を10月～3回シリーズで開催予定</p>
4	<p>重点目標 幼児教育・保育のニーズに応える子育て支援の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備</p> <p>(1)すがだいら保育園延命化改修工事</p> <p>(2)みなみ保育園解体、跡地利用の検討</p> <p>(3)保育施設整備計画の変更</p> <p>②質の高い幼児教育・保育の質の推進と受入体制の充実</p> <p>(1)日向幼稚園認定こども園化工事</p> <p>(2)信州自然型保育認定の推進</p> <p>(3)多子世帯等の副食費の軽減策の実施</p> <p>(4)認可外保育施設の質の向上及び支援</p> <p>③保育の人材確保・業務の効率化の推進</p> <p>(1)保育士養成校に通う学生の保育所への就職促進</p> <p>(2)再就職希望者への支援</p> <p>(3)公立保育園業務のICT化の検討</p> <p>④幼保小中の連携の推進（スタートカリキュラムに向けての連携）</p>	<p>①</p> <p>(1)改修工事完了（年内）</p> <p>(2)解体工事完了（年度内）</p> <p>(3)計画変更完了（9月末まで）</p> <p>②</p> <p>(1)補助金交付等による支援</p> <p>(2)1園認可（年度内）</p> <p>(3)補助事業計画・補助要綱案、予算化検討（年度内）</p> <p>(4)認可化支援策案の作成（年度内）</p> <p>③</p> <p>(1)職場説明会、ガイダンス等への参加（通年）</p> <p>(2)相談会、保育の職場体験会の開催（各2回）</p> <p>(3)一斉メール配信開始、試験導入に向けた調整</p> <p>④ブロック会議の開催、相互交流の実施（随時）</p>	<p>①</p> <p>(1) 施設延命化に向け屋根及び外壁塗装工事等を工事を実施（8月に完了）</p> <p>(2) 建築課等と連携し、業者選定委員会での審議等、工事実施に向け準備</p> <p>(3) 8月開催の子ども子育て会議にて計画変更案を審議</p> <p>②</p> <p>(1) 県協議を行うとともに、12月補正予算化に向け調整</p> <p>(2) 武石保育園の信州型自然保育認定を申請（7月）</p> <p>(3) 県内19市の実施状況等を調査のうえ、令和4年度実施計画を要求</p> <p>(4) 県制度を踏まえ、認可外保育園への市補助金交付要綱の見直しを検討中</p> <p>③</p> <p>(1) 上田女子短期大学において講演実施</p> <p>(2) 保育職場の相談会を2回開催（8名参加、内1名を会計年度任用職員として任用）</p> <p>(3) 一斉メール配信開始（5月）、保育園業務ICT化検討会による検討を開始（7月）</p> <p>④ 中学校区ごとのブロック会議の開催、相互交流による連携事業を実施中</p>

重点目標一覧表（中間報告調書）

【令和3年度重点目標】

担当部局名

健康こども未来部

重点目標	救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
5	<p>①これまでの事業の検証、改善策の検討及び事業の推進 (1) 地域医療政策総合調整参事によるこれまでの事業の検証 (2) 検証を受けての事業の改善策検討及び推進</p> <p>②安定的な医師確保体制の整備と充実 (1) 上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施及び制度の検証 (2) 信州上田医療センターが実施する医師確保事業への支援</p> <p>③救急医療体制の確保 (1) 内科・小児科初期救急センターの運営と周知 (2) 深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備 (3) 病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援</p> <p>④地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨</p> <p>⑤広域連合ふるさと基金を活用した地域医療対策事業の実施及び事業の検証</p>	<p>①上田看護専門学校再編に伴う支援内容検討のための基礎調査の実施（11月末まで） 鹿教湯病院再編に伴う財政支援要望に対する方向性の決定（9月末まで）</p> <p>②(1)被貸与者確保。 国家試験合格後の進路の把握 通年 (2)初期研修医を含む医師80人体制の達成</p> <p>③広域連合、関係市町村と連携して事業を実施 初期救急医療と二次救急医療体制の確保 通年</p> <p>④「知って安心・医療の仕組み」を活用し、広報を実施 通年</p> <p>⑤事業効果の把握と翌年度以降の事業内容の検討 通年</p>	<p>①基礎調査については、調査票回収が終了。10月末までに結果をまとめる。 鹿教湯病院については、施設竣工後の運営費補助を行う方向性</p> <p>② (1) 新規に修学資金3人の応募があり、うち2人に対し貸与を決定した。 被貸与者と情報共有をするとともに、現制度の課題の洗い出しを行った。 (2) 信州上田医療センターの医師数は7月現在77人</p> <p>③内科・小児科初期救急センターは昨年度と比較すると受診者数は若干増加傾向 深夜の初期救急患者の受入れを医師会に委託し、病院群輪番制病院での受入体制を継続。広域連合と連携して二次救急医療機関を支援し、救急医療体制を確保している。</p> <p>④市役所本庁舎等で配布。医療体制について広報うえだ8月号で周知</p> <p>⑤広域連合主催の会議に出席し、構成市町村等と事業内容について協議している。</p>
重点目標	医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
6	<p>①医療費適正化の取組（保険者努力支援制度評価項目） (1) 特定健診等実施率向上の取り組み (2) 第三者賠償請求の取組推進 (3) 後発医薬品の利用促進</p> <p>②国保財政の健全な運営 (1) 国保税率の検討 (2) 保険料（税）水準統一に向けた検討</p> <p>③収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進 （国保：保険者努力支援制度評価項目） (1) 収納率の向上 (2) 年金被保険者情報を活用した国保脱退勧奨等の実施 (3) オンライン資格確認等の実施に伴うマイナンバーカード取得推進</p> <p>④健康寿命の延伸と医療費の適正化 （高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施） (1) 事業全体の協議、関係部署との調整・連携 (2) フレイル予防及び健康増進事業</p>	<p>① (1) 受診率50% (2) 現年度分収納率 90% (3) 後発医薬品使用割合 82%</p> <p>②(1)運営協議会への諮問、答申 （改定の場合3月議会へ条例改正提案） (2)国保運営協議会での協議</p> <p>③ (1) 現年度分収納率 95.0% (2) 脱退等届出勧奨通知の送付 (3) マイナンバーカード取得勧奨文等の送付</p> <p>④ (1) 庁内関係部署との連携会議、関係団体との連携・情報共有 (2) 保健指導実施人数700人、通いの場等への実施 団体25団体、参加人数330人</p>	<p>① 令和3年8月末時点受診率9.4% (2) 被保険者への勧奨や保険会社への確認を継続して実施中 (3) 【国保】83.5% (R3.8月)</p> <p>② (1) 10月18日に第1回国保運営協議会開催予定 (2) 8月5日に第1回国保運営協議会開催通知発送</p> <p>③ (1) 滞納者には窓口で納税勧奨。当初納税通知書及び更正通知書に口振依頼ハガキ同封 (2) 毎月対象者に勧奨通知発送中 (3) 8月1日の保険証更新時にリーフレット及び交付申請書同封</p> <p>④ (1) 関係部署と必要に応じ会議を開催。今後、関係団体との連携・情報共有を予定。 (2) 保健指導実施人数：30人（9月末現在） 実施団体数：7団体、参加人数：103人（9月末現在）</p>

重点目標一覧表（中間報告調書）

【令和3年度重点目標】

担当部局名

健康こども未来部

重点目標	安全で安心な周産期医療提供体制の確保と市立産婦人科病院のあり方への方針策定		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
7	<p>①安全で安心な周産期医療提供体制の確保 (1) 常勤医師及び固定的応援医師の確保</p> <p>②母乳育児の推進強化 (1) 母乳率データ集積・分析による母乳率増加へのアプローチ体制の構築 (2) 院内全体で取り組むための母乳育児に係る情報の共有と意識の統一</p> <p>③妊娠・出産から産後ケアまでの継続的支援体制が必要な人に対するサービスなどの提供と病院魅力アップ事業の充実 (1) 産後ケア事業（宿泊型）の実施 (2) 院内イベント、広報活動の充実による妊産婦の孤立化や不安の解消 (3) 母乳相談外来、育児相談外来等の充実</p> <p>④婦人科外来診療の充実 (1) 女性の要望に応えた不妊治療等婦人科外来の充実 (2) 子宮頸がん検診等実施医療機関としての受け入れ実施</p> <p>⑤市立産婦人科病院のあり方に対する方針策定の調整 (1) 運営審議会の答申を踏まえた方針策定の調整 (2) 方針策定に伴う庁内関係部署との連携・調整</p>	<p>① (1) 常勤医師及び固定的応援医師の確保</p> <p>② (1) 退院時母乳率目標 85.0% (2) 母乳カンファレンスの実施</p> <p>③ (1) 産後ケア事業受入 5人 (2) 感染症対策下での院内イベントの開催 (3) 産後健診以外の相談外来の情報発信</p> <p>④ 子宮がん検診 300件 特定健診 30件</p> <p>⑤(1) 年度内にパブリックコメントの 実施及び方針の策定 (2) 庁内調整会議を開催（随時）</p>	<p>① (1) 常勤医師1名、固定的応援医師7名の確保及び信州上田医療センターとの連携による安全・安心な医療を提供</p> <p>② (1) 退院時母乳率実績 71.9% (2) 母乳カンファレンス 160回実施、母乳育児院内勉強会1回 13人参加</p> <p>③ (1) 産後ケア事業受入れ 3人 (2) 母親学級代替映像教室 延べ23人参加 ミニ母親学級28回開催 延べ110人参加 (3) 母乳相談外来 延べ61人</p> <p>④ (1) 子宮がん検診 125件 (2) 特定健診 13件</p> <p>⑤ (1) 運営審議会の答申を踏まえた方針案について9月16日から10月15日までパブリックコメントを実施 (2) 方針案作成に当たり、医療及び母子保健政策など庁内関係部署と協議</p>
重点目標	多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
8	<p>①発達支援体制の強化 (1) 発達支援事業の啓発と強化 ア 「うえだ発達支援事業」（ガイドブック）の配布や出前講座等の実施 イ 市民向け講演会を上田地域定住自立圏構成市町村と共同開催 (2) 発達相談・支援の充実 ア 各保育園に対する相談事業、巡回指導を実施（保育課） イ 幼稚園巡回相談の実施（発達相談センター） ウ 発達支援に関する研究会の開催 エ 継続的な支援・効果的な支援に向けて支援ノート「つなぐ」利用促進 オ 「感覚を育てるため運動教室」の開催 カ 4か月健診における作業療法士の個別相談</p> <p>(3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】 ア 上田地域定住自立圏検討会議の開催 イ 発達支援担当保育士育成研修の実施（保育課） ウ 保育所職員に対する研修の実施（保育課） エ 保育士育成のための運動教室の開催（発達相談センター）</p> <p>②虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり (1) こども家庭総合支援拠点の機能の充実及び関係機関等との連携強化 ア 県のモデル事業を活用した児童相談所との連携強化や地域の特色を生かした「子ども家庭支援ネットワーク」の構築に向けた調査研究を行う。 イ 要保護児童対策地域協議会の開催による関係機関との連携強化 (2) 児童虐待の発生を未然に防止するため、啓発活動、講演会の開催</p> <p>③ひとり親家庭の社会的自立に向けた支援の実施 (1) 生活の安定を図るため、就職に有利な資格取得等に対する経済的支援を行う。 (2) ひとり親家庭の児童に対する生活習慣や学習習慣の定着を図る。</p>	<p>① (1) ア ガイドブックを関係機関に配布 イ 市民向け講演会 1回開催</p> <p>(2) ア 相談事業96回、巡回指導80回実施 イ 幼稚園巡回相談 24回 ウ 庁内関係課、庁外関係機関の研究会開催 エ 広報掲載5月 関係機関への利用促進 オ 幼児コース2回 児童コース1回 カ 4か月健診実施回数</p> <p>(3) ア 保育課：担当者会議3回開催 発達相談センター：検討会 3回 イ 公開保育（10/26）、保育学習会3回（6・7・1月） 児童発達支援センター研修11回実施 ウ 9月・10月に2回開催 エ 保育園での運動教室の開催 2園</p> <p>② (1) ア 支援ネットワーク素案の作成 イ 代表者会議1回、実務者会議3回、個別支援会議随時開催</p> <p>(2) 講演会1回、広報うえだ等による啓発</p> <p>③ (1) 高等職業訓練給付事業利用促進 (2) 小学5・6年生 各15人</p>	<p>① (1) ア 保育園・医療関係機関等に1,300部配布 イ オンラインによる市民向け講座を10月23日（土）に開催予定</p> <p>(2) ア 相談事業44回（延べ48人）、巡回指導88回実施 イ 8園に実施中 10回（10月1日現在） ウ 作業療法士による発達研究会 エ 5月号広報掲載 園長会、校長会での周知 オ 幼児コース2回 児童コース1回 カ 4か月健診時の個別相談16回（10月1日現在）</p> <p>(3) ア 保育課：担当者会議開催（5/14） 発達相談センター：検討会1回（10月1日現在） イ 10/26公開保育実施予定（塩田中央保育園）、保育学習会2回実施（6/16、7/28） 児童発達支援センター研修4回実施（11月に4回実施予定） ウ 10/22オンラインで開催（予定） エ 保育園での運動教室11月より2園 支援者向けペアレントトレーニング1回</p> <p>② (1) ア 児童相談所と支援体制の確認、協議を実施 イ 代表者会議1回、実務者会議延期、個別支援会議随時開催（192回）</p> <p>(2) オンライン講演会実施 受講者数56回線 隔月で広報うえだへの児童虐待防止啓発記事掲載</p> <p>③ (1) 高等職業訓練給付事業利用者17人（新規7人） 自立支援教育訓練給付金利用者 1人 (2) 小学5年生10人 小学6年生11人 9月から毎週1回開催</p>